

4月



撮影：2018年2月（富山県高岡市 野村）



## あの日のあの川 リレー日記 ～第43話～



あの日のあの川  
リレーDiary

みなさんはどの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

### 第43話主人公 片岡永理奈

(筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類 白川(直)研究室『川と人』ゼミ)

(■川ガール・□川系男子)

(出身地を流れる川：富山県庄川)

### 「思い出」

いつのこと？：小学生～高校生

どの川？：庄川

富山県は自然豊かなところで、その名の通り山に富む県であり、同時に川に富む県でもあります。県内には、イタイタイ病で有名な神通川や、日本でも有数の急流河川である常願寺川、ほかにも黒部川、片貝川、早月川、庄川、小矢部川が流れており、それらを総じて七大河川と呼びます。

学校では、その7つの川を西から順に覚えてテストをしたり、地域の歴史で川の水害や治水工事について学んだりしました。しかし、富山県が全国でも川で有名な県であることは、白川先生のゼミに入ってからようやくわかりました。これを機に、「川」という視点から地元について考えるようになりました。

今回は、幼少期や青年時代の川での記憶ということで、七大河川のうちの一つ、庄川について取り上げたいと思います。

小さいころ、よく庄川沿いの河川敷公園に連れてきてもらい遊んでいました。公園の中には遊具のほかに、子供たちが水遊びできる浅い池やバーベキュー広場、パークゴルフ場があり、休みの日には親子連れがたくさん見受けられました。夏には、地域のイベントでバーベキューをしたり、水遊びをしたり、それから公園内でアユのつかみ取りをしたこともあります。私の中で「庄川」といって、真っ先に思い浮かぶのは、自転車の練習をした記憶です。もちろん、練習したのは先ほど述べた公園の付近です。「川」とは直接関係ないのですが、はじめて補助輪を外して自転車に乗った場所だったので、これが庄川に関する思い出で一番濃いです。今回、この日記を書くにあたり、久しぶりにこの公園を訪れてみたのですが、公園から見える庄川の風景は以前とほぼ変わらず、とても懐かしい気持ちになりました。



撮影：2019年3月（富山県 射水市）

ほかにも、庄川沿いでは、春には凧祭り、夏には花火大会が行われています。庄川の河川敷で毎年開催されている凧祭りでは、純粹に凧揚げを楽しみに来る人や、凧揚げ大会に参加して本気で競技しに来る人など、全国からたくさんの人々が集まります。そして、私も数年前にこの祭りに参加し、学校で作った凧を揚げました。大小、形、デザインさまざまな凧が、たくさん、大空を舞い、本当にきれいで活気と迫力であふれていました。

思い出し始めると、庄川で「川」として何か特別なことをしたわけではありませんが、生活風景の一部として、自分の成長過程における景色の一部として、私自身の記憶の中に庄川は存在するのだなあと思いました。

(次号は6月号にて近藤さんにバトンを託します)